

名人も驚嘆！ズッシリ重い晩抽ネギ！

予告品種

NX-AF722ネギ

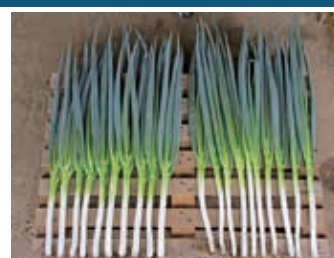


茨城県坂東市の初夏どりネギの作付面積は200ha以上で国内トップの産地です。早い時期の作型は絶対的な品種が存在する一方、気温が上昇する6月以降は多くの品種が紹介されているものの決め手に欠け、生産者の皆さんは品種選択に悩み続けています。弊社では、高温期でも品質、歩留まりが維持できる新品种「NX-AF722」で生産者の収益向上を後押ししていきます。2018年の試験結果をレポートします。

2018年・初夏どりの試験結果

評価ポイント① 6月、7月どりでも驚きの重量感！

気温上昇と共にネギは重量を失い、地元の集荷業者でも出荷基準（重さ）を下げます。「NX-AF722」は写真のような太さだけでなく、中身の充実も維持できるので一般的な品種よりも一本重がおよそ15%重いという結果でした(6月どり)。6月下旬の現場評価でも「この時期でこのズッシリ感は初めて」と驚きの声が上がっています。



「NX-AF722」 他社品種

評価ポイント② 温度上昇期でも襟の緩みなし！

気温上昇と共に襟のぼらけが目立ち始めますが、「NX-AF722」は緩みなく固い締りを維持できます。襟のみならず、葉鞘部全体が良く締まるので、軟白部の色抜けが早く、仕上げの土寄せから出荷までの期間を短くできるとの評価を得ています。



「NX-AF722」

評価ポイント③ 高い耐病性で、圃場歩留まりを確保！

トンネルを除去した後から問題になる葉身部の病害に強いのも「NX-AF722」の特長です。

2018年6月は、さび病、べと病、そして例年より早く黒斑病が多発しましたが、「NX-AF722」への発生は軽微でした。葉身へのダメージが少ない分、反収が確保しやすくなります。



「NX-AF722」

他社品種

時期	4月	5月	6月	7月
ネギのタイプ分け		晩抽ネギ（前半）		晩抽ネギ（後半）
				夏ネギ
2018年の結果から見る「NX-AF722」のおすすめ時期			<p>6月に入り、温度が上がるにしたがって、一般的にネギは軽くなり、襟の締りも緩みがちになります。また、さび病やべと病、黒斑病の多発時期に入ります。</p> <p>「NX-AF722」の推奨収穫時期</p> <p>「NX-AF722」は重量感を失わずに品質を高いレベルで保ち、かつ耐病性も備え、晩抽ネギ～夏ネギに品種が移り変わる難しい時期に最も威力を発揮します。</p>	
		光沢の強さも評価されている「NX-AF722」		

2019年初夏どりは試験地区を拡大していきます！ 詳細は営業担当まで！